学校番号	3033

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

☆筆による多様な線の表現を楽しく学ぶ
・漢字の書　楷書を中心に　同じ一本の筆から様々な雰囲気の線の表現が生まれることを学ぶ。
・仮名の書　漢字から平仮名への簡素化のルーツを理解してその上で　単体連綿・全体の構成など学ぶ。百人一首。
・漢字と仮名の調和した表現の工夫。
・篆刻、篆書体を学ぶと共に　印刀の扱い方など基本的な彫り方をまなぶ。作品に押印することによって生ずる効果を知る

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現方法や形式、書表現の多様性についての理解を深めると共に、表現や鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
【思考力、判断力、表現力等】
書の造形的な美しさを感受し、表現の意図に基づいてその技術を高める、書の伝統と文化の意味や価値についての理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創作活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育てると共に、感性を大切に想像力を豊かにする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	意図に基づいて構想し表現を工夫している、書の伝統と文化の意味や価値を考え理解を深めようとしている。書の美を味わい自分の表現に生かす努力をしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 様々な人間的かつ創造的な書に接することで、ものを造る楽しさを学び、ものごとに積極的に取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1年前期	導入 漢字の書	書写から書道へ 漢字の成立と変遷 臨書を通して様々な楷書を学ぶ 筆の機能を学ぶ 運筆の仕方で様々な表情の線が表現されることを学ぶ	a:中学での書写と芸術科としての書道との違いを理解し、創造的活動に取り組む意識を深める。 b:漢字の成立と書の美しさの変遷を感受し古典の臨書を通して用筆法などの技術、表現の方法を学ぶ。 c:様々な雰囲気の書を古典の臨書から味わい、伝統文化に関心を持って主体的に活動に取り組む。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート
	漢詩創作	漢詩(偶成) 掛軸に仕立てる →文化祭に出品	a:漢詩の意味を理解し、幅広く表現に挑戦しているか。 b:書の美しさへ自分の意図を作品にどう生かすか工夫しているか。 c:様々な古典から学習した表現・技術を積極的に取り組んでいる。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート
1年後期	篆刻	自分の雅印	a:篆書の成立過程を知り、書体の特徴を理解して効果的な雅印を作ることを目指す。 b:篆書のデザインの美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫する。 c:デザイン・刻り方等、資料を参考に積極的に取り組んでいる。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート
	仮名	仮名の成立 仮名の筆使い 連綿・構成	a:仮名の成立過程や基本的な線・運筆について理解する。基礎的な技術を身に付ける。 b:古典（平安仮名）の美しさを感受し伝統と文化の意味や価値を考え、書の美しさを味わっている。 c:主体的に楽しく自分のリズムで取り組んでいる。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート

		仮名創作 百人一首から自薦して 一首　作品に仕上げる	a:多様な表現を理解し、効果的に自分の作品に生かしている。基礎的な技能を身に付けている。 b:自分の作品の美しさはどこにあるのか。その意図に基づいてどう工夫しているか。 c:自分の新しい創造性に挑戦しているか。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度